



香港

香港に来たついでに、ぜひ足を伸ばしてみたいのが隣の広東省深圳(しんせん)市。近年その発展は著しく、街中の風景は香港とほとんど変わりません。それなのになぜ深圳に行くのか? それは物価が非常に安く、中華料理の味やサービスも香港よりはるかに優れているから。香港で食べたら数千円もする料理が、深圳なら3分の1の料金を済んでしまう。しかも中国全土から腕利きの料理人が集まっているので、普通のレストランでも味はなかなかのものなのです。

私がお勧めするのは、麻婆豆腐や坦々麺でおなじみの四川料理の店。繁華街からは少し離れていますが、羅湖ボーダーからタクシーに乗り、「四川大厦」と書いたメモを運転手に渡せば、10分ほどで到着します。運賃も20元(300円)前後です。入口では、いきなりチャイナドレスに身をまとった5、6人の女性がお出迎え。これだけでもうれしくなるのに、料理の味もこれもまた絶品! ビールも安く、財布を気にせずにくらでも飲めます。ビールはやっぱり地元産の「金威(キングウェイ)ビール」。これが不思議と四川料理によく合います。たらふく飲み食いしても、1人1,000円前

後で収まるはず。こういう店を見つけるたびに、香港で食事をするのが本当にばからしくなってしまうのです。

井本幸一 / 香港・沙田在住



会社名 : Union Plan Ltd.
 住所 : Rm.1506, 15/F Trust Centre,
 912-914 Cheung Sha Wan Road,
 Kowloon, Hong Kong
 Tel : +852-2744-5718
 Fax : +852-2959-3638
 E-mail : info@unionplan.com.hk
 URL : http://www.unionplan.com.hk
 事業内容 : 邦人向けに会社設立や貿易代行、
 その他の実務支援

世界なん

世界各国に住んでいる日本人からの
 これであなたも海外通に



イスラエル

イスラエルの人口の過半数を占めるユダヤ教徒には、“コウシャ”と呼ばれる厳しい食事規定があります。詳しいことはわかりませんが、大変興味深いのでかいつまんで説明します。

まず、豚はあらゆる加工品を含め、一切食べません。食用の肉は、羊・牛あるいは魚ということですが、鱗がない魚は食用不可なので、ウナギは食べられません。それから肉と乳製品は同時に摂ることを禁止され、ステーキを食べたあとにミルク入りのコーヒーを一杯といったことも規定に引っかかります。料理をする際も肉用の鍋が決まっており、食器も同様で、肉料理を出す皿にはチーズなどの乳製品をのせることはできません。マックのチーズバーガーはもってのほかということになります。とはいえ、厳密にこの規定を守る人は信仰心のあついユダヤ教徒に限られており、友人のユダヤ人の中には豚肉のハムが好物だという人もいます。

冬でも温暖なイスラエルは、食べ物の傷みも早いでしょう。職場にお弁当を持ってくる人は皆無といっ

ていいほどです。“コウシャ”を提供するレストランには特別なマークがあり、お昼時ともなれば敬虔なユダヤ教徒たちで繁盛しています。

萩原均 / イスラエル在住



会社名 : Union Plan Ltd.
 住所 : Kibutz Givat Haim
 Meahud 38930 Israel
 Tel & Fax : 972++(0)4-636-8289
 E-mail : hagiwara@mishkei.org.il
 事業内容 : イスラエル政府公認ガイド、
 輸出入代行、ハイレク関連技術書翻訳、
 プログラミング



フランス

フランスでひとたびドライブをすると、ロータリーの数の多さに気が付きます。フランスではこの円形交差点を「ロンボワン」と呼び、日本なら当然信号機の十字路であろうところに設置しています。

信号十字路はいかにも日本人の美学にかなっていると思われまます。与えられる指示に素直に従い、かつ、先へ先へと考えて行動する。交差点に入る時点で、既に自分の進む方向を決定していないと、後戻りができません。そのような規律だった行為を日本人は難しく日常的にこなしています。

片やロータリーは、それを好むフランス人の精神を反映しているかに見えます。円形交差点はその地点に入った上で方向を決めることが可能。他にも利点があって、円形一方通行に入るための道はどんな方向から、何本でも車の流れを変えることなく合流できるようになっています。また、万一事故が起こっても車同士が垂直にぶつかるのを避けられるので、十字

路での事故より被害を小さく食い止めることができます。その上、信号機の電気代はかからないし、故障もない。そんなフランスのロータリーは、花壇になっていたり、地域の文化的シンボルを設置していたりと、ちょっとした創作の舞台。あの有名なパリの凱旋門もロータリーの円形内部にあたりまます。

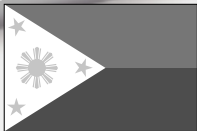
武藤美佐 / フランス・アヴィニョン在住



会社名	: France Terroir
住所	: " LA CARDERE " B2-16 76 , rue de la Banasterie
Tel	: +334 90 27 91 48
Fax	: +334 90 85 63 48
E-mail	: davidth@club-internet.fr
事業内容	: ワイン販売・輸出、試飲会主催、 その他現地日本語コーディネーター様々

でも通信

現地レポートをご紹介!
なれえるかも!?



フィリピン

マニラの“ ツーリストベルト ”という、まずマニラ市エルミタ地区が思い浮かびます。安宿・アパートメントホテル・五ツ星ホテルなど数十軒もの宿泊施設、両替屋・レストラン・地元の若者の集まるディスコ・ライブハウスなどが密集。旅行者にとっては便が良く、サンチャゴ要塞などスペイン領時代の名所旧跡も目と鼻の先にあるので、程よい旅情に浸れる、これぞマニラという地区です。

1898～1946年までアメリカの植民地だったフィリピンは、今でもその生活習慣が色濃く残っていて、フィリピンなまりの英語を話し、チップで生計を立てている人が多いですね。各国の旅行者の中でも日本人は彼らにとって大のお得意さんで、日本人を見れば片言の日本語で声をかけてきます。両替屋の呼び込み、タクシードライバー、そしてポン引き。日本語で親しげに話しかけてくるとつい返事をしてしまう日本人も多いのですが、彼らと付き合っても危険こそあれ良いことは何もないので、100%の無視をおすすめします。

また、エルミタの歓楽街は前マニラ市長の政策

によって10年ほど前に姿を消しており、夜遊びならマカティ市・パサイ市へ。スリが多いため通りを歩くときは所持品に気をつけ、決して金銭の存在を他人に教えないことです。「NO!」とはっきり言えるよう心がけてください。

三宅信義さん / フィリピン・マニラ在住



会社名	: W.S.Welink Inc.
住所	: 4th Floor VNP Building, 479 Pedro Gil St., Ermita, Manila
Manila Cel	: 63-919-817-6549
Tel & Fax	: 63-2-820-0022
E-mail	: nbf04352@nifty.com
URL	: http://homepage2.nifty.com/philippines/ML/
事業内容	: 退職者ビザ・結婚ビザ取得代行、 結婚式場手配貸事務所、 リタイアメント・コンサルティング